

令和2年度
事業報告

自 令和 2年4月 1日
至 令和 3年3月31日

公益社団法人京都染織文化協会

令和2年度 事業報告

1. 会員の加入及び退会

	期首	加入	退会	期末
会員数	41	0	0	41

加入商社：なし

退会商社：なし

2. 会務

■第72期通常総会

令和2年 5月19日	新型コロナウイルス 感染防止のため 書面決議 (決議の省略)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2019(令和元)年度事業報告承認の件 2. 2019(令和元)年度決算報告承認の件 3. 令和2年度事業計画(案)承認の件 4. 令和2年度収支予算(案)承認の件
---------------	---	--

■臨時総会

令和3年 1月27日	京都経済センター	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定款変更の件
---------------	----------	---

■理事会

令和2年 4月17日	新型コロナウイルス 感染防止のため 書面決議	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2019(令和元)年度事業報告の件 2. 2019(令和元)年度収支決算報告の件 3. 第72期通常総会を決議の省略とする件
---------------	------------------------------	---

8月19日	書面決議	<ol style="list-style-type: none"> 1. KPA 京都プリント振興協会主催『メイキング・ワークショップ2021』に対する当協会の共催名義使用許可並びに助成金(50万円)の交付承認について
-------	------	---

12月18日	京都経済センター	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定款変更(案)の件 2. 寄贈受入規程(案)の件 3. 臨時総会開催の件 4. 代表・業務執行理事の職務執行報告 5. 創立80周年記念事業の件 6. その他
--------	----------	---

令和3年 3月15日	からすま京都 ホテル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和3年度事業計画(案)の件 2. 令和3年度収支予算(案)の件 3. 代表・業務執行理事の職務執行報告の件 4. 第73期通常総会日程の件(5月25日於：京都ホテルオークラ) 5. 役員改選の件 6. その他
---------------	---------------	---

3. 実施事業

■ 公益事業

(1) 染織文化資源の保全と啓発事業

当協会が基本財産に位置付ける「染織祭衣装」と「全国染織産地合同制作布地」を保全するとともに、これら所蔵資料にみる染織技術の公開や資料そのものの一般公開により一般社会に伝える知識普及啓発を目的とし、下記事業に取り組んだ。

* 「染織祭」の詳細調査並びに公開

当事業は、昭和6年～26年に挙行された染織祭について北野裕子氏(龍谷大学 非常勤講師)に調査を依頼し、現存する史料や文献、ヒアリングなどから当時の社会・経済背景、染織祭挙行の経緯、衣装制作の詳細を明らかにすることで、いまだ認知の薄い染織祭と復元女性時代衣装の存在を一般に広く知ってもらい、染織文化・染織技術を継承する目的で取り組んでおり、今年度は次の通り調査を行った。

<今年度調査先>

- ・ 文献調査—龍谷大学大宮・深草図書館、京都府立京都学・歴彩館
- ・ 資料調査—猪飼嘯谷筆「歴代女性図 全28幅」(当協会所蔵)

<調査成果の公開>

- ・ 染織祭の経緯と功績を一般の方々にわかりやすく伝えるためウェブサイト上の「コラム」を7回に亘り公開した。
- ・ 北野氏執筆による論文「京都・染織祭と女性時代風俗衣裳—服飾史の可視化に挑んだ人々—」を日本衣服学会誌にて発表し、学会会員に向けて啓発した。
- ・ 吉川観方監修衣装との繋がりを探るため猪飼嘯谷筆「歴代女性図 全28幅」の再確認を、北川満哉学芸員と共に行った。
- ・ 調査により明らかになった内容はウェブサイト並びにweb上で展開するフリー百科事典『Wikipedia』に追加掲載して一般社会に啓発した。

* 染織祭衣装台帳のデータベース化

手書きで作成されている143領分の衣装台帳をデジタルデータに移行し、併せて衣装のあらゆる情報を一括にまとめ端末上で管理する環境を整備するため、今年度は次の通り取り組んだ。

<今年度の取組み>

- ・ 上古・鎌倉・江戸初期の衣装54点の傷み度確認。
- ・ 上古～江戸末期の着装構成物の各画像データ集積

* 染織祭関係史料の公開

当協会が保管する染織祭関係史料データをウェブサイト上で公開した。

<今年度公開史料>

規約並施行細則(昭和6年以降) 4ページ

役職員名簿講社員募集委員名簿(昭和13年4月) 31ページ

* 染織技術アーカイブの作成に伴う資料調査と公開

当事業は所蔵資料に使われた染織技術の記録と解説を行い、その内容をウェブサイト上で染織技術アーカイブとして纏めて公開する目的で行っており、今年度は次の通り公開した。

※染織祭衣装は平成29年度をもってすべて公開済。

(新規公開内容)

「全国染織産地合同制作布地」/1996・1997年春・夏物向布地 21点

公開技術「織る」……ブークレー、斜子織、パイル織、ブッチャー

* 染織祭衣装の補修・修繕並びにレプリカ制作

◎補修・修繕

当協会が設定する「傷みの5段階評価」に基づき、次の通り補修を依頼した。

<対象衣装>

鎌倉時代 9号「桂」

<依頼先>

松下装束店(京都市中京区)

◎レプリカ制作

衣装の劣化に伴う将来の備えとして、また職人による技術復興・継承の機会としてレプリカの制作を行った。

<対象衣装>

桃山時代4号「紅縷子地雲取鳶亀甲笹松七宝文様打掛」(後記参照)

※令和2年度日本芸術文化振興基金、令和2年度京都染織会館助成金対象事業

<協力先>

京鹿の子絞振興協同組合

京都刺繍協同組合

<今年度作業>

- ・染色、金彩、刺繍等の工程を経て、2021年3月24日に完成した。
- ・「伝統産業の日 匠エキスポ」(2021.3/13-14 於：みやこめっせ)において令和元年度制作の慶長小袖・辻が花小袖の新旧衣装の展示公開を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベント自体が中止となった。

* 創立80周年記念事業に向けての取組み

◎創立80周年記念展覧会

図録制作のための着装写真撮影を行った。

日 時 令和3年2月25日(木)9:30-16:00

場 所 織商会議室

撮 影 着装衣装 30領

依頼先 (撮影)(有)尚永堂 (着付)高田装束店京都店

◎書籍の発刊

染織祭に関する書籍発刊に向けて、原稿の執筆、資料画像の収集を行った。

*** 所蔵資料貸付協力**

(染織祭衣装)

◎衣装貸付協力

・奈良県立美術館主催「みやびの色と意匠 公家服飾からみる日本美」

会 期 7月25日(土)～9月22日(火・祝)9:00～17:00

会 場 奈良県立美術館(奈良市登大路町10-6)

貸 付 奈良時代衣装 合計2点

入場者 6,612名

◎画像提供協力

①ハースト婦人画報社「美しいキモノ夏号」への画像提供

発 売 日 5月20日

提供画像 桃山6号レプリカ制作工程画像 5枚

使用目的 染織祭レプリカ制作の紹介

②兵庫県立歴史博物館「女たちのひょうご一千姫から緒方八重まで」への画像提供

会 期 10月3日(土)～11月23日(月・祝)

会 場 兵庫県立歴史博物館(姫路市)

提供画像 室町～江戸末期までの衣装 8点

使用目的 小袖の変遷パネル制作のため

③同志社大学「留学生と創る！伝統と革新 京着物文化読本制作プロジェクト」の画像提供

発 刊 日 令和3年1月20日

提供画像 奈良～江戸末期までの衣装 7点

使用目的 女性衣服の変遷の資料画像

(2) 染織技術等継承事業

日本の染織技術を次代に継承していくために、染織に馴染みの薄い人たちにあらゆる方法でもって伝えることで認知と理解を深め、将来携わる人々を増やす目的で次の事業に

取り組んだ。

*子ども向け染織技術啓発冊子の配布

きものをより身近な衣服として受け止めてもらうと共に、きものには様々な技術が使われていることをわかりやすく伝え染織技術の一端を知ってもらうことを目的に小冊子を制作し、従来は子どもが初めてきものを着るシーンである十三まいり、七五三詣りにて配布しているが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大を懸念し、フェイスブックで配布先を募り、下記の通り配布した。

<配布先>

高島屋 6 店舗の呉服売り場 300 冊

(日本橋・新宿・横浜・名古屋・大阪・京都)

* 染織文化セミナーの開催

◎Web 配信「かわいいのルーツを知ろう！こども着物の魅力」

日 時 10 月 19 日(月)～30 日(金)の 12 日間配信

講 師 似内 恵子 氏(NPO 法人京都古布保存会理事長)

内 容 こども着物のデザインや融通性などを実物と共に紹介。

受 講 料 無 料 ※YouTube にて一般公開

広 報 (会員・関係団体・美術館等)当協会より案内送付

(一般)当協会ウェブサイト、フェイスブックで告知。

視 聴 数 76 回

◎「文化とは何だろう 伝統文化の役割と未来」

日 時 令和 3 年 3 月 15 日(月)14:00～16:00

会 場 からすま京都ホテル 2 階 双舞の間

講 師 前崎 信也氏(京都女子大学生生活造形学部 准教授)

内 容 デジタルの普及とグローバル化による文化の重要性を紹介。

受 講 料 無 料

広 報 (会員・関係団体・美術館等)当協会より案内送付

(一般)3/1 京都新聞夕刊に広告掲載。当協会ウェブサイト、フェイスブックで告知。

受講者数 当協会会員、関係団体、美術館、一般 40 名

* インターネットミニ染織講座の開催

当協会ウェブサイト内において、衣装レプリカ制作工程を撮影した動画を制作し、インターネット動画共有サービス『YouTube』にアップロードし相互リンクして当協会ウェブサイトの閲覧を促した。

◎衣装複製制作プロジェクトシリーズ

- ①「桃山時代 6号 衣装完成」(更新日：6月2日)
- ②「桃山時代 4号 下絵工程」(更新日：7月6日)
- ③「桃山時代 4号 糸入れ工程」(更新日：8月1日)
- ④「桃山時代 4号 金彩工程」(更新日：12月3日)
- ⑤「桃山時代 4号 刺繍工程」(更新日：令和3年2月17日)

(3) 染織技術等継承に関わる助成事業

染織技術を継承し一般社会に啓発していくことを目的とし、当協会助成規定に基づき次の事業への助成を行った。

◎KPA 京都プリント振興協会「メイキング・ワークショップ 2021」への共催

会 期	10月9日(金)～11日(日)10:00～18:00※最終日17:00
会 場	京都府京都文化博物館別館(中京区三条高倉)
出 展 者	15社 30組
内 容	染色業に携わる職人の創造力、技術力の向上を図るため、制作の機会、発表の場を提供した。今回は「色のらくがき」をテーマに装飾性の高いプリントを訴求し、色・プリント技術での意匠表現に挑戦したプリント服地の提案を行った。当協会からは共催名義使用許可、助成金50万円の交付並びに京都染織文化協会理事長賞の下付を行った。
入場者数	553名

■会員事業

* 会員のための啓発事業

◎ 展覧会招待

<招待展覧会>

- ・「ロンドン・ナショナル・ギャラリー」展(第3期分 2021.1/3～1/31 国立国際美術館)
- ・「よみがえる承久の乱」展(2021.4/6-5/23 京都文化博物館)

* 京都プレス事業

当事業は染織品の発展と更なる需要を促すために、伝統的な染織技術と先端技術を融合させた新しい素材の開発と加工に取り組み、市場での反応を調査した後、その技術と情報を会員商社にフィードバックする目的で行っている。今年度は和装素材の新しい提案としてシルクオパール糸の開発並びに織物の制作を京都市産業技術研究所、京都府織物・機械金属振興センターの協力により、引き続き取り組んだ。

* 会員助成事業

歴史ある染織技術を継承し発展することを目的に、会員の企業活動に対する助成金拠出については、為替の低迷による減収から、今年度は中止した。

令和2年度 染織祭衣装レプリカ制作衣装

桃山時代4号「紅綸子地雲取鳶亀甲笹松七宝文様打掛」

(生地：紋綸子 技術：染め分け、刺繍、摺箔)

新衣装(令和3年制作)



旧衣装(昭和6~8年制作)

